

我が国で製造、販売される医薬品・医療機器等の承認審査や安全対策、薬局・薬剤師制度の整備等を通じて、医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保に取り組むとともに、保健衛生上の危害の発生・拡大の防止に取り組んでいます。また、食品の規格基準の策定や監視指導、生活衛生の向上、安全な水道水の供給等を通じて、国民の安全・快適な生活の実現に取り組んでいます。

部局の所掌分野

医薬品・医療機器等の安全性確保

承認・認証審査や安全対策等を通じ、性状・形状が多岐にわたる医薬品・医療機器の品質、有効性及び安全性を確保しています。

薬局・薬剤師制度の整備

薬局・薬剤師制度等の企画・立案を通じ、医薬品の適正な使用を推進するとともに、安全・安心な薬物療法を受けることができる環境の実現を目指しています。

食品の安全の確保

食品に関連する科学技術の進展、食品流通の国際化、食生活の多様化等に柔軟に対応して、我が国における食品の安全を確保しています。

安全な水道水の確保

水道事業の認可、水質基準の策定等の水道に関する制度の運用や水道管の耐震化への財政支援等に加え、災害時には断水被害への対応も行っています。

生活衛生関係営業の振興等

理容師・美容師の資格制度や旅館・ホテル営業の許可制度等、生活衛生関係営業の衛生規制と振興に加え、建築物の衛生的環境の確保等を担っています。

政策紹介

01 最先端の医薬品・医療機器等を世界に先駆けて医療現場に届ける

知識集約型・高付加価値型の産業である医薬品・医療機器産業や日本が最先端に行く再生医療技術の発展は、成長戦略の重要な柱の一つです。課題となっていたドラッグラグ、デバイスラグは、様々な取組によって既に過去のものとなっており、現在は最先端の医薬品・医療機器等を世界で最も早く患者の方々に提供することを目指した取組に力を入れています。また、現在は、ロボット・AI・ゲノム技術の実用化や、再生医療技術の進展等に伴い、従来の枠にあてはまらない優れた製品の開発が進められています。このような動きに対応し、安全で高品質な製品がスムーズに開発・承認され、医療現場でいち早く利用されるようにするため、適切な規制環境を整えています。



HAL医療用下肢タイプ▶
(歩行機能を改善する医療機器)

02 食品衛生管理水準の向上と国際標準化を推進する

国民が日々安心して食品を口にできるよう、科学的根拠に基づき、食品中の残留農薬等の規格や製造方法等の基準の策定、国内流通食品の監視指導、輸入食品の安全性確保に向けた取組を進めています。平成30年度には、15年ぶりに食品衛生法の大きな改正を行いました。食のグローバル化等の環境変化を踏まえ、衛生管理の水準の向上や国際標準化を図るため、原則、全ての事業者にHACCP(ハサップ。食品の製造工程における食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因を分析、評価、管理する国際標準手法)による衛生管理を義務づけることや、食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度(使用を認められた物質以外は原則使用禁止する仕組み)が我が国にも導入されることとなりました。



▲食品の輸出国調査の様子

03 水道を将来世代に引き継ぐための基盤を強化する

日本の水道は約98%の普及率を誇り、蛇口をひねれば、いつでも「安全でおいしい水」を飲むことができます。

しかし、老朽化した水道施設の更新や耐震化が遅れ、漏水事故や断水のリスクが高まっているとともに、人口減少社会を迎えて経営状況が悪化し、小規模で脆弱な水道事業者では水道サービスを継続できないおそれが生じるなど、深刻な課題に直面しています。厚生労働省では、こうした課題に対応し、水道を将来世代に確実に引き継ぐため、複数の市町村が連携して事業を行う「広域連携」や計画的に水道管の更新や耐震化を進める「適切な資産管理」、民間の技術やノウハウを活用する「官民連携」等を推進しています。



▲安全・安心な水道を次世代に引き継ぐ

Hot Topics

薬物の乱用防止

近年、インターネット上での誤った情報の流布を背景とした大麻の乱用が若年層を中心に広がっているとともに、覚せい剤事犯における再犯率の増加等が問題となっています。これらの状況を踏まえ、平成30年8月に策定された「第五次薬物乱用防止五か年戦略」に基づき、薬物に対する強力な取締りや広報啓発といった取組を日々進めています。



新たな外国人材の受け入れ

深刻化する人手不足に対応するため、2019年4月から、一定の専門性・技能があって即戦力となる外国人材を受け入れる新たな仕組みが始まります。建築物の内部を清掃するビルクリーニング分野は、人手不足が加速化しており、この新たな受け入れ制度の対象業種となっています。外国人材の受け入れに向けて、現在、技能試験の準備等に取り組んでいます。

